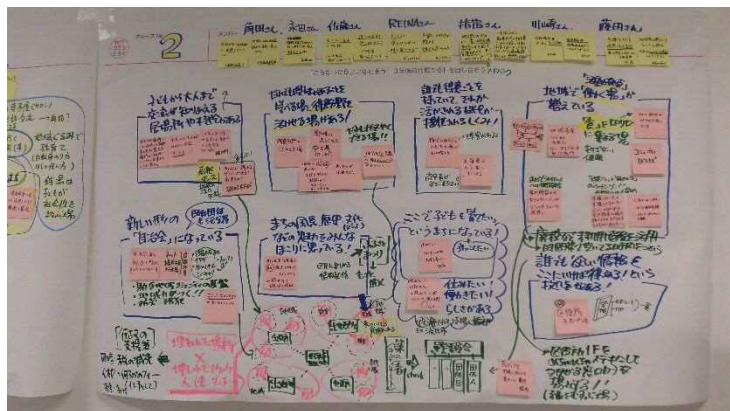
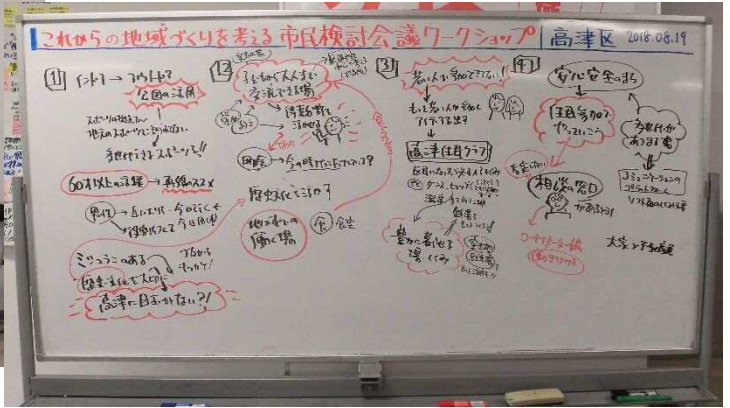


これからの地域づくりを考える
市民検討会議ワークショップ
高津区 開催結果概要

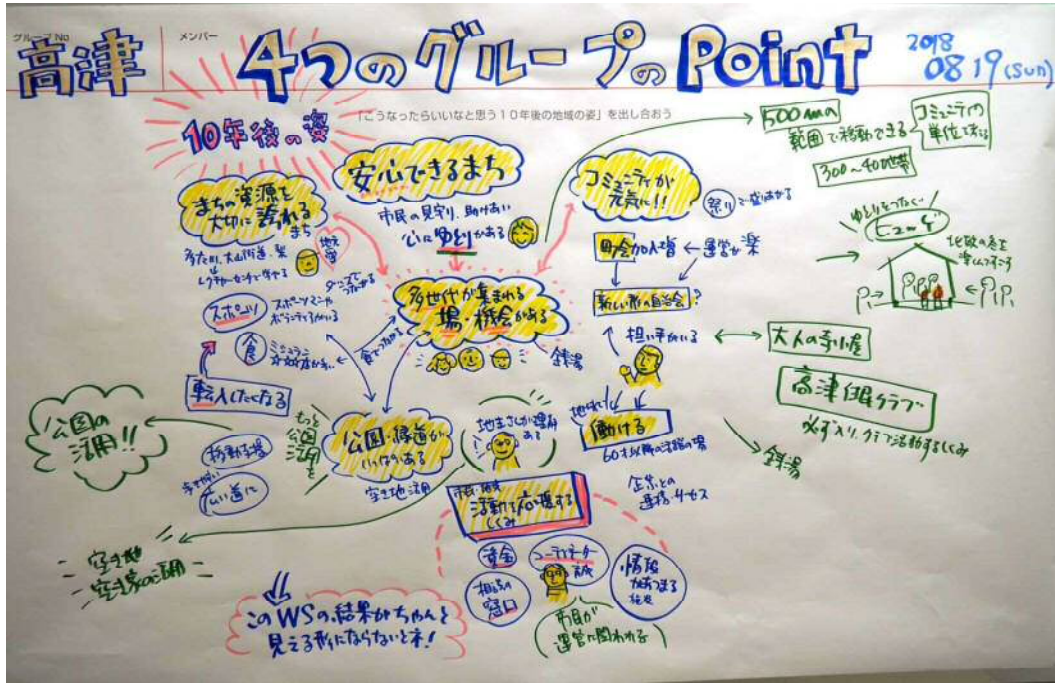
- 🕒 開催日時 2018(平成30)年8月19日(日) 14:30~17:50
- 📍 開催場所 にこぶら新地~二子新地のアート×コミュニティスペース~
- 👥 参加者 26名 他22名(事務局、コンサルタント、各区傍聴者)
- 📋 内容 開会あいさつ 中村市民文化局コミュニティ推進担当部長
ワークショップの目的と進め方
チェックイン(自己紹介)
グループワーク
 - ・テーマ1 「こうなったらいいなと思う10年後の地域の姿」を出し合おう
 - ・テーマ2 「こうなったらいいなと思う10年後の地域の姿」を実現させるためのアイデアを出し合おうグループワークの発表
閉会あいさつ 高梨高津区長
チェックアウト
- 🗣️ 出された主な意見
 - ・インドアからアウトドアへ、公園の活用し多世代ができるスポーツを
 - ・60歳以上の活躍、地域での新しい働き方
 - ・地元企業との連携によるまちづくりの展開
 - ・高津の歴史文化を活かしたつながりやきっかけづくり・まちの資源を誇れるまちへ
 - ・多様な担い手が集まる新しい形の自治会も必要なのでは
 - ・もっと若い人が参加しアイデアが出せるしくみづくり
 - ・多世代が集まる場としてコミュニケーションのプラットフォーム、ソフト面のしくみが必要





市民検討会議ワークショップ（高津区）のまとめ

4つのグループの Point



「こうなったらいいなと思う 10 年後の地域の姿」を出し合おう

まちの資源を大切に誇れるまち

- 多摩川、大山街道、梨
 - レクチャーセンターでまちについて学ぶことができ、地元愛が育まれる
- スポーツ
 - 多様なスポーツマンや、スポーツボランティアがいる
 - ダンスを通して多様な人たちがつながる
- 食
 - ミシュラン三ツ星店が多いまちになる



- 転入したくなる魅力があるまち

安心できるまち

- 市民の見守り、助け合い、心にゆとりがある

多世代が集まれる場・機会がある

- 食でつながる
- 銭湯が地域につながる場として生きる

公園・緑地がいっぱいある（もっと公園活用を）

- 公園の活用!!
- 空き地活用
- 歩きやすい広い道に
- 移動支援

コミュニティが元気に！

- 祭りで盛り上がる
- 町内会・自治会の加入者増／新しい形の地縁組織へ
 - 地縁組織の運営が楽になり、若い世代も関わりやすい
- 地域の担い手がいる
 - 大人の寺子屋
 - 高津住民クラブ（必ず入り、クラブ活動するしくみをつくる）
- 地域で働ける
 - 60歳以降の活躍の場
 - 銭湯（地域ぐるみで孫育て）
- ゆとりをつなぐヒュッゲ（デンマーク語で「居心地がいい時間や空間」の意味）に学ぶ
 - 北欧の冬を楽しんで過ごすという考え方

コミュニティの単位を考える

- 500mの範囲（300～400世帯）で移動できる

市民・地域活動を応援するしくみ

- 地主さんが地域活動に対して理解がある
 - 空き地・空き家の活用
- 資金
- 相談の窓口
- コーディネーター育成

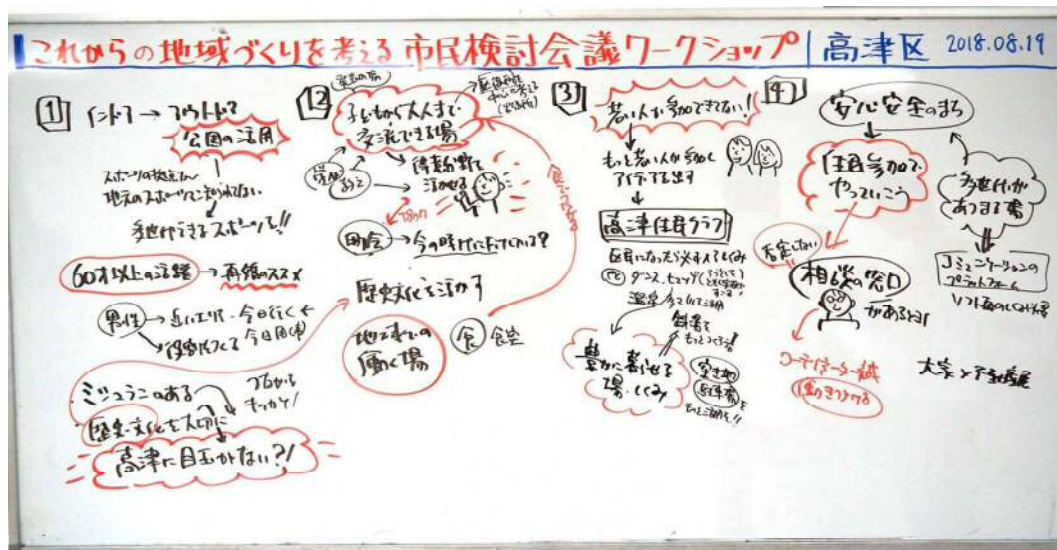
→市民が運営に関わる

○情報が集まる施設

その他

○このワークショップの結果がきちんと見える形になることが大切！

グループ発表



1グループ

○インドア→アウトドアへ（公園の活用）

→スポーツの拠点が地元のスポーツマンに知られてない

→多世代ができるスポーツを!!

○60代以上の活躍

→60代からの再婚のススメ（孫を通して出会う）

○男性はキョウイク・キョウヨウが必要

→近いエリア→今日行く

→役割をつくる→今日用（事）

○歴史・文化を大切に

→歴史・文化を地域のつながるきっかけに

→高津に目玉がない?!（ミシュランの星3つの店があるまちへ）

2グループ

- 子どもから大人まで交流できる場
 - 世代を越えて学び合い、教え合える場
 - 得意分野を生かせる
 - ダンスを通じた交流・発表の場・盆踊りから盆ダンスへ
 - 区役所を中心に考える（出張所）

- 今の時代にあった町内会・自治会とは

- 歴史・文化を生かす

- 地域で働く場
 - 食堂
 - 食でつながる

3グループ

- 若い人が参加できてない！
 - もっと若い人が参加しアイデアを出す
 - 高津住民クラブ
 - 区民で必ず入るしくみ
 - ex.ダンス、ヒュッゲ（ろうそくを灯し家族で過ごす）、温泉、多摩川を活用
 - 豊かに暮らせるしくみ
 - 銭湯をもっとつくろう！
 - 空き地駐車場をもっと活用を！

4グループ

- 安心・安全のまちが大事
 - 住民の満足度が高いまちへ

- 市民主体の地域活動が盛んなまちにしよう
 - 仕事として続けられるコーディネーターを育成する
 - 相談の窓口があると良い（=否定しないで受け入れてくれる）

- 多世代が集まる場

→コミュニケーションのプラットフォーム

→ソフト面のしゅき必要

○不動産、大家がもっとまちづくりに関わるまち